

箱崎白浜地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 26 年 6 月 29 日（日）15 時 00 分～16 時 30 分
- 場所 仮設集会所
- 次第

1. 市長からの挨拶
2. これまでの経緯について
3. これまでの経緯について
4. 土地利用計画について
5. 事業実施スケジュールについて
6. 箱崎半島線の進捗状況について
7. 意見交換について

東日本大震災から 3 年 3 ヶ月が過ぎ、漁業機能は整備されつつあり、本年 5 月に復興公営住宅が完成した。このことで市内仮設住宅より 3 世帯 7 人が戻り、町内の賑わいが増えることになり、ありがたく思うが、今後の白浜地域に関する要望を申し上げたい。

1 点目。防災集団移転促進事業（高台移転事業）について、自力再建者に対する事業が予定どおり進捗するようお願いしたい。

2 点目。津波災害地（災害危険区域）の今後の跡地利用として、造成後に津波鎮魂碑の建設と祭りができる広場を造ってほしい。漁業集落の排水設備も必要である。

3 点目。箱崎－白浜間の道路拡幅整備をお願いしたい。道路には工事車両が入るため、大雨による倒木で通行止めにならないよう、震災前からの路肩や法面整備も続けてほしい。また、水産物の搬入、漁港の整備等にも大型 10 トン車が入るため、今の本道路以外に道路を整備してほしい。

4 点目。冬期間の道路対策や何年か前にお願いした道路設計もお願いしたい。

→ 1 点目の高台移転事業の早期完成は、今日、皆さんにお示した土地利用計画について了解をいただければ、すぐに設計を始め、7 月着手を目指したいと思います。

2 点目の跡地利用については、今年度跡地利用についての計画策定をしており、皆さんの意見を取り入れながら、排水設備整備と共に進めたいと思います。

3 点目の町内道路の拡幅と漁港への道路整備は、できればまず最初に高台移転の

造成工事を先に行い、その後連絡通路を整備した上で、その後にこの2点は協議させていただければと思います。

4点目。3点目の路肩整備や法面整備に加え、倒木、冬期間の道路安全対策も、工事用車両が今後通るようになるので、工事関係者と連携し、また道路管理者とも協議をして、安全対策に取り組みたいです。しかし、全部できないときもあるので、地元の方にも引き続きご協力をお願いします。

石橋前から津元前まで復興道路が通るが、中須賀前で新しく住宅を建てる人たちへの保育園からの道路が点線になっているのは、どこを通るかわからないので予定ということか？

→ 詳細がまだ詰めきれておらず、検討している段階です。復興道路がこのような形でできるか、併せて、復興道路からのアクセス道路ができるか、それとも復興道路がこのようにできなければ、保育園のほうから接続するかなどを今、検討している段階です。引き続き道路は検討をさせていただきたいです。

白浜と箱崎間の道路が1本しかなく、もし崖崩れや何か問題が生じたときは孤立してしまう。仮宿・桑ノ浜間海岸道路を避難道路のようにして、何とか自動車が通れるように整備ができるものか？

→ 仮宿から桑ノ浜に抜ける道路は、海側が絶壁、山側も急斜面で拡幅等は難しい状況であり、自動車1台程度が通れる形で建設課は管理をしていましたが、十分管理が行き届かないところもあるとは思います。そのため、落石など何かありましたらご連絡をいただき、道路管理者と建設課で協議し、通行止めにならないように対応したいと思います。

十何年か前に箱崎神社で崩落して通れなくなったときに整備をしたが、別な道路をもう1本、高台（南側）を越える道で確保してほしい。

→ 仮宿から桑ノ浜に抜ける海岸道路は整備が困難であり、現状維持で通っていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

（市長）わずか3軒をつなぐために道路を造ることは、あまり例がなく大変です。市にもお金がなく、全部国の交付金でお願いしており、国と協議して了解が得られない前に進めません。国との協議は復興公営住宅を造る財源が最優先であり、それからなので今すぐは難しいです。

漁村を守る生活基盤には道路が重要であり、その道路がメインにならねば、私達は良くても次の世代の人たちが納得しない。

（市長）わかっていますが、まずは復興住宅の優先整備にご理解いただきたい。

（副市長）津波で浸水した場所には住めないので、造成した高台に移転しますが、そこに造る道路は認めてもらいます。先ほどご説明した高台を通る迂回路はなかなか認めてもらえないものですが、やっと苦労してこういうルートを引いており、ご理解いただきたく思います。

津波のときに発生した孤立を防ぎたく、どうしても高台にもう 1 本避難路ができればよいと思う。東日本大震災時のように浸水で孤立したら、緊急ヘリで救援してもらえるのか? 当てにしていた学校に家ができるため、ヘリが離着陸できる広場は、どうしても海側の低い場所になるが、早くそれが感じられる空間ができないと安心できない。

→ 住宅の土地利用計画を今日ご了解いただければ、詳細設計に入りすぐ工事に着手します。それと並行し、今度は下(北側)の広場活用なども改めてご相談しながら進めるので、お話を聞かせいただき検討したいと思います。

石橋前の道路だが、今杭が建っている。赤いテープが巻かれているが、その部分が道路になるのか?

→ 何かあつたら伺うと思いますので、よろしくお願ひします。

以前、岩手県交通に災害復興公営住宅付近へのバス停の新設をお願いした時は、道路が狭く無理だと言われたが、バス停から荷物を持って上がるのととても大変である。バス停の新設をお願いしたい。

→ 今、箱崎まで来ている「にこにこバス」は、家の前まで来てくれる便利さと、逆に事前に電話が必要な不便さがありますが、箱崎白浜まで運行延長して対応したいと考えています。10月1日から試験運行を実施したいと思っています。

次の日に釜石市中心部に行く予定が、急に何か用事ができた場合、定期バスであれば前日でも利用できる。それができないのは不便だと思う。

→ にこにこバスでも、当日利用は可能です。例えば、誰かが予約し、にこにこバスが10時に停まるとき、たまたま乗れる場合もあります。また、朝は時間を決めて、にこにこバスを定期バスにしようかなどを考えており、それ以外では電話予約で自由に走ることも検討しています。

白浜の場合、学校前、今のバス停前とその屯所前、津元前などを廻れば良いと思う。最終的には道路ができた段階で再度考えれば良く、それまでは現状通りでよいのではないか?

(市長) バスに関しては、皆さんで意見交換をされるとともに、市でも検討していくたいと思います。

防潮堤から下がった場所でも漁業作業をしており、ぐるっと回って避難するより速く逃げられるよう、西側(中央部)にも避難階段を付けてほしい。

→ (岩手県) それほど広くない今の幅くらいの階段しか設置できないと思いますが、東西の道路に移動するより近い方が確かに使われると思います。即答はできませんが、検討をさせていただきたいと思います。

(市長) 市と相談していただければと思います。

今までの津波被害を見ると、足で逃げる人がいるほか、車を持っていない人もおり、階段設置を是非お願ひする。

→ (岩手県) わかりました。検討します。

防潮堤の真ん中あたりで水門の壊れているところがある。そこがちょっと土砂崩れになつて、車も不自由しており、対応してほしい。

→ 既存道路で高い石垣が崩れるようになっており、ご不便をお掛けして応急処置しておりますが、防潮堤計画の詳細が決まり、それに併せてその市道の復旧もこれから検討したく、もうしばらくお待ちください。防潮堤と市道は、市の建設課の道路であり、崩れているものも復旧を検討したいと思います。

雨が降れば、壊れている水門は、もっと崩れていきそうな感じだ。

→ 応急措置をしていますが、雨が降った際には道路パトロールもしながら、気を付けてたいと思います。

津波で壊されたが、漁港には以前トイレがあった。また整備してくれるのか？

→ (岩手県) 漁港は県管轄で、地元と打ち合わせを行い、2箇所あったトイレのうち1箇所を元通りにして欲しいとのことであり、今年度中にトイレを造る予定です。

工事が終わったような感じもするのだが、元の水門周辺は車が通れないのか？

→ (岩手県) 水門の脇にある土留めコンクリートですが、コンクリートの壁で土を抑えていたものの、ボックスカルバート※敷設のためにその壁を部分的に壊しており、危険なことから通行止めにしています。今年9月に漁港関係工事がほぼ完了のため、それまで整備は進められません。

※カルバート…道路の下に水路等の空間を得るために盛土、あるいは原地盤内に設けられる構造物

→ あと2ヶ月ぐらい、申し訳ないですがそのままです。

元の水門周辺が通れないのであれば、土砂崩れになっている水門周辺はもう少し整備をしてほしい。現状のままでは、ダンプが来ても通れない。

→ 造成工事も始まれば、あそこはダンプが通るので、早急に検討を行います。

砂浜から釜石に向かって左側の山は、津波を被ったため枯れて倒木が進んでいる。車が通っており、危険であり早く伐採したほうがよい。

→ 東中学校の向かいの山でしょうか。個人用地の塩害木は昨年度まで農林課で対応していました。基本的には個人の山の木は、個人で切ってもらうことが前提ですが、下を市道が通っており、現地確認の上、地権者さんと話をさせていただきます。

(市長) 本日は足元の悪いところ、皆さん長時間ごくろうさまでした。冒頭、会長さんから何点か要望をいただきました。復興公営住宅が完成し、自力再建の方々の計画も今日お示しできましたので、まずは早く造成工事ができるよう頑張りたいと思います。また、道路、防潮堤の工事等々、取り急ぎ進めるよう努力いたします。

あと、お話があったバスの件も、白浜の皆さんのが生活に必要な足の確保になるため、電話で予約して利用するデマンドバス（通称：にこにこバス）ですが、お金をかけずに皆さんの利便性が高いバスの運行方法はないかと現在検討しています。皆さんと話し合いながら、とりあえずの形と将来の固定したやり方をどうしたら良いかについて、考えながら進めていきたいと思います。

また、盆踊り等が行える広場もないとのことですが、そういった公園や設備も検討したいと思っておりました。次回は、そういった話までできれば良いと考えております。

今日、建設工事の施工業者を紹介しましたが、今までと違うのは、市役所の中の話だけではなく、今度は工事関係者が関わってきて、個々の課題がいろいろと出てくるとは思います。そこで、市役所も体制を立て直そうと、本日最初に説明した小原健蔵さんがこの箱崎白浜の担当者になりました。何でも良いので彼に話し、彼を窓口にして、彼がさまざまな課題を取りまとめて皆さんに報告する形にさせていただきます。ぜひご協力いただき、これからもさまざまな課題があると思いますが、我々も頑張りますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

北ブロック提案体（工事業者）の紹介

業者名

- ・戸田建設・青紀土木・福山コンサルタント・三和技術コンサルタント・釜石測量
設計共同提案体

以上